産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 28 日

熊本県知事殿

提出者

住所 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

氏名 熊本県知事 木村 敬 (土木部道路都市局下水環境課) (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 096-333-2530

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	球磨川上流浄化センター
事業場の所在地	球磨郡錦町大字一武字平岩 7 0 - 1
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 から
当該事業場において現	
①事業の種類	下水道業(電気・ガス・熱供給・水道業)
②事業の規模	令和5年度処理下水量(流入量)270万m <sup>3</sup>
③従業員数	6名
④産業廃棄物の一連 の処理の工程	発生→濃縮→脱水→収集運搬→処分(発酵→堆肥として再利用)

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の種類  非 出 量 : : : : : : : : : : : : : : : : : :	別載 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 参照	産	業層	廃棄物の処理に係る	る管理体制に	<u>ا</u>	関する事項							
			(崔	管理体制図)										
「前年度 ( 5 年度 ) 実績   汚泥 (議論   汚泥 (ま葉廃棄物の種類	【前年度 ( 5 年度 ) 実績】			別紙 産業廃棄物の	の処理に係る	旨管	哲理体制に 関	目す	る事項 参照					
「前年度 ( 5 年度 ) 実績   汚泥 (議論   汚泥 (ま葉廃棄物の種類	【前年度 ( 5 年度 ) 実績】													
「前年度 ( 5 年度 ) 実績   汚泥 (議論   汚泥 (ま葉廃棄物の種類	【前年度 ( 5 年度 ) 実績】													
「前年度 ( 5 年度 ) 実績   汚泥 (議論   汚泥 (ま葉廃棄物の種類	【前年度 ( 5 年度 ) 実績】													
「前年度 ( 5 年度 ) 実績   汚泥 (議論   汚泥 (ま葉廃棄物の種類	【前年度 ( 5 年度 ) 実績】													
「前年度 ( 5 年度 ) 実績   汚泥 (議論   汚泥 (ま葉廃棄物の種類	【前年度 ( 5 年度 ) 実績】													
「前年度 ( 5 年度 ) 実績   汚泥 (議論   汚泥 (ま葉廃棄物の種類	【前年度 ( 5 年度 ) 実績】													
「前年度 ( 5 年度 ) 実績   汚泥 (議論   汚泥 (ま葉廃棄物の種類	【前年度 ( 5 年度 ) 実績】													
「前年度 ( 5 年度 ) 実績   汚泥 (議論   汚泥 (ま葉廃棄物の種類	【前年度 ( 5 年度 ) 実績】													
「前年度 ( 5 年度 ) 実績   汚泥 (議論   汚泥 (ま葉廃棄物の種類	【前年度 ( 5 年度 ) 実績】													
「前年度 ( 5 年度 ) 実績   汚泥 (議論   汚泥 (ま葉廃棄物の種類	【前年度 ( 5 年度 ) 実績】													
「前年度 ( 5 年度 ) 実績   汚泥 (議論   汚泥 (ま葉廃棄物の種類	【前年度 ( 5 年度 ) 実績】													
「前年度 ( 5 年度 ) 実績   汚泥 (議論   汚泥 (ま葉廃棄物の種類	【前年度 ( 5 年度 ) 実績】													
「前年度 ( 5 年度 ) 実績   汚泥 (議論   汚泥 (ま葉廃棄物の種類	【前年度 ( 5 年度 ) 実績】	辞音	华區	変	制に関する	ŧτ	百 百							
① 現産業廃棄物の種類 汚泥 (議籍 汚泥)	① 現 佐業廃棄物の種類 汚泥 (養縮 汚泥 (技	生	₹.											
現状 排 出 量 90,880.02 : 2.44 : : : : : : : : : : : : : : : : : :	現 (未発展表的の種類   排 出 量		D		汗泥 ()連約									
排 出 量 90,880.02 * 2.44 * * * * * * * * * * * * * * * * * *	排 出 量 90,880.02 * 2.44 * * * * * * * * * * * * * * * * * *			産業廃棄物の種類										
# 出 量	# 出 量	1		排 出 量	90, 880. 02	t	2. 44	t	t	t	t	t	t	t
# 出 量	# 出 量		-	ごのおります。 ごのおります。 ごのおります。 ごのおります。 ごのおります。 ごのおります。 ごのおります。 ごのおります。 このおります。 このおりまます。 このおりまます。 このおりまする。 このおりまする。 このおりままする。 このおりままする。 このおりままする。 このおりままする。 このおりままする。 このおりままする。 このまままする。 このまままする。 このまままする。 このまままする。 このまままする。 このまままする。 このまままする。 このまままする。 このまままする。 このままままする。 このままままする。 このまままままする。 このままままままする。 このまままままままままままままままままままままままままままままままままままま										
(これまでに実施した取組) 重力機縮槽を利用することにより、汚泥の減量化を図っている。  【目標】 産業廃棄物の種類 汚泥 (濃縮 汚泥 (沈	(これまでに実施した取組) 重力濃縮槽を利用することにより、汚泥の減量化を図っている。  【目標】		-	庄未用来初 7 厘規	•									
重力濃縮槽を利用することにより、汚泥の減量化を図っている。  【目標】  産業廃棄物の種類   汚泥 (洗縮   汚泥 (沈   砂)	重力濃縮槽を利用することにより、汚泥の減量化を図っている。  【目標】  産業廃棄物の種類 汚泥 (濃縮 汚泥 (沈 茂記)			排 出 量		t		t	t	t	t	t	t	t
【目標】  産業廃棄物の種類 汚泥 (濃縮 汚泥 (沈 砂)  排 出 量 85,873.00 * 2.31 * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	② 計画 排 出 量 85,873.00 ( 2.31 * * * * * * * * * * * * * * * * * * *		į	(これまでに実施	した取組)									
【目標】  産業廃棄物の種類 汚泥 (濃縮 汚泥 (沈 砂)  排 出 量 85,873.00 * 2.31 * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	② 計画 排 出 量 85,873.00 ( 2.31 * * * * * * * * * * * * * * * * * * *													
②計画    産業廃棄物の種類   汚泥 (濃縮   汚泥 (沈	②計画    産業廃棄物の種類   汚泥 (濃縮   汚泥 (沈   砂)			重力濃縮槽を利用	することに	ょ	り、汚泥の	)減	<b>達化を図っ</b> ~	ている。				
②計画    産業廃棄物の種類   汚泥 (濃縮   汚泥 (沈	②計画    産業廃棄物の種類   汚泥 (濃縮   汚泥 (沈   砂)													
計画  ## 出 量 85,873.00 t 2.31 t t t t t t t t t t t t t t t t t t t	正業廃棄物の種類   汚泥 (	(2	2)		活泥 (漕報	숲	活泥 (沙			<u> </u>	<u> </u>			<u> </u>
# 出 量 85,873.00 * 2.31 * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	# 出 量 85,873.00 t 2.31 t t t t t t t t t t t t t t t t t t t		'	産業廃棄物の種類		Ħ								
産業廃棄物の種類  排 出 量 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	産業廃棄物の種類 排 出 量 t t t t t t t t t t t t t t t t t t	1		排 出 量	85, 873. 00	t	2. 31	t	t	t	t	t	t	t
排 出 量	# 出 量 t t t t t t t t t t t t (今後実施する予定の計画)  処理効率の向上を行い、汚泥の減量化に努める。  産業廃棄物の分別に関する事項  (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  現状 (産業廃棄物処理の現状・課題) ア 排出抑制: 今後の流入水量 (処理水)の減少に伴い、有機性汚泥の発生量が減少すると考えられる。イ 再生利用:脱水汚泥を安定的に処分するため、県内及び県外の再生利用業者3社に委託している。ウ 減量化: 高性能脱水機 (含水率の低下)の導入、減量化のため適正運転管理を実証して行く必要がある。  (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  ② 計 加理効率の向上を行い、汚泥の減量化に努める。		-					Ц						
(今後実施する予定の計画)  処理効率の向上を行い、汚泥の減量化に努める。  産業廃棄物の分別に関する事項  (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  (産業廃棄物処理の現状・課題) ア 排出抑制:今後の流入水量(処理水)の減少に伴い、有機性汚泥の発生量が減少すると考えられる。 イ 再生利用:脱水汚泥を安定的に処分するため、県内及び県外の再生利用業者3社に委託している。 ウ 減量化:高性能脱水機(含水率の低下)の導入、減量化のため適正運転管理を実証して行く必要がある。 エ 適正処理:適正処理可能な業者の選定及び処分状況の確認に努める。	(今後実施する予定の計画)  処理効率の向上を行い、汚泥の減量化に努める。  産業廃棄物の分別に関する事項  (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  (産業廃棄物処理の現状・課題)  ア 排出抑制: 今後の流入水量(処理水)の減少に伴い、有機性汚泥の発生量が減少すると考えられる。 イ 再生利用:脱水汚泥を安定的に処分するため、県内及び県外の再生利用業者3社に委託している。 ウ 減量化:高性能脱水機(含水率の低下)の導入、減量化のため適正運転管理を実証して行く必要がある。 エ 適正処理:適正処理可能な業者の選定及び処分状況の確認に努める。  (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  ②  計 如理効率の向上を行い、活泥の減量化に努める			産業廃業物の種類										
応義の  ・	産業廃棄物の分別に関する事項  (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  (産業廃棄物処理の現状・課題) ア 排出抑制:今後の流入水量(処理水)の減少に伴い、有機性汚泥の発生量が減少すると考えられる。 イ 再生利用:脱水汚泥を安定的に処分するため、県内及び県外の再生利用業者3社に委託している。 ウ 減量化:高性能脱水機(含水率の低下)の導入、減量化のため適正運転管理を実証して行く必要がある。 エ 適正処理:適正処理可能な業者の選定及び処分状況の確認に努める。  (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)			排 出 量		t		t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の分別に関する事項  (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  (産業廃棄物処理の現状・課題) ア 排出抑制:今後の流入水量(処理水)の減少に伴い、有機性汚泥の発生量が減少すると考えられる。 イ 再生利用:脱水汚泥を安定的に処分するため、県内及び県外の再生利用業者3社に委託している。 ウ 減量化:高性能脱水機(含水率の低下)の導入、減量化のため適正運転管理を実証して行く必要がある。 エ 適正処理:適正処理可能な業者の選定及び処分状況の確認に努める。  (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	産業廃棄物の分別に関する事項  (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  (産業廃棄物処理の現状・課題) ア 排出抑制:今後の流入水量(処理水)の減少に伴い、有機性汚泥の発生量が減少すると考えられる。 イ 再生利用:脱水汚泥を安定的に処分するため、県内及び県外の再生利用業者3社に委託している。 ウ 減量化:高性能脱水機(含水率の低下)の導入、減量化のため適正運転管理を実証して行く必要がある。 エ 適正処理:適正処理可能な業者の選定及び処分状況の確認に努める。  (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		-	(今後実施する予	<u></u> 定の計画)									
産業廃棄物の分別に関する事項  (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  (産業廃棄物処理の現状・課題) ア 排出抑制:今後の流入水量(処理水)の減少に伴い、有機性汚泥の発生量が減少すると考えられる。 イ 再生利用:脱水汚泥を安定的に処分するため、県内及び県外の再生利用業者3社に委託している。 ウ 減量化:高性能脱水機(含水率の低下)の導入、減量化のため適正運転管理を実証して行く必要がある。 エ 適正処理:適正処理可能な業者の選定及び処分状況の確認に努める。  (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	産業廃棄物の分別に関する事項  (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  (産業廃棄物処理の現状・課題) ア 排出抑制:今後の流入水量(処理水)の減少に伴い、有機性汚泥の発生量が減少すると考えられる。 イ 再生利用:脱水汚泥を安定的に処分するため、県内及び県外の再生利用業者3社に委託している。 ウ 減量化:高性能脱水機(含水率の低下)の導入、減量化のため適正運転管理を実証して行く必要がある。 エ 適正処理:適正処理可能な業者の選定及び処分状況の確認に努める。  (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)													
① ① 現状 (産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) (産業廃棄物処理の現状・課題) ア 排出抑制:今後の流入水量(処理水)の減少に伴い、有機性汚泥の発生量が減少すると考えられる。 イ 再生利用:脱水汚泥を安定的に処分するため、県内及び県外の再生利用業者3社に委託している。 ウ 減量化:高性能脱水機(含水率の低下)の導入、減量化のため適正運転管理を実証して行く必要がある。 エ 適正処理:適正処理可能な業者の選定及び処分状況の確認に努める。 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  (産業廃棄物処理の現状・課題) ア 排出抑制:今後の流入水量(処理水)の減少に伴い、有機性汚泥の発生量が減少すると考えられる。 イ 再生利用:脱水汚泥を安定的に処分するため、県内及び県外の再生利用業者3社に委託している。 ウ 減量化:高性能脱水機(含水率の低下)の導入、減量化のため適正運転管理を実証して行く必要がある。 エ 適正処理:適正処理可能な業者の選定及び処分状況の確認に努める。  (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)			処理効率の向上を	行い、汚泥	の	減量化に努	なめ	る。					
① ① 現状 (産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) (産業廃棄物処理の現状・課題) ア 排出抑制:今後の流入水量(処理水)の減少に伴い、有機性汚泥の発生量が減少すると考えられる。 イ 再生利用:脱水汚泥を安定的に処分するため、県内及び県外の再生利用業者3社に委託している。 ウ 減量化:高性能脱水機(含水率の低下)の導入、減量化のため適正運転管理を実証して行く必要がある。 エ 適正処理:適正処理可能な業者の選定及び処分状況の確認に努める。 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  (産業廃棄物処理の現状・課題) ア 排出抑制:今後の流入水量(処理水)の減少に伴い、有機性汚泥の発生量が減少すると考えられる。 イ 再生利用:脱水汚泥を安定的に処分するため、県内及び県外の再生利用業者3社に委託している。 ウ 減量化:高性能脱水機(含水率の低下)の導入、減量化のため適正運転管理を実証して行く必要がある。 エ 適正処理:適正処理可能な業者の選定及び処分状況の確認に努める。  (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)													
① 現状 (産業廃棄物処理の現状・課題) ア 排出抑制:今後の流入水量(処理水)の減少に伴い、有機性汚泥の発生量が減少すると考えられる。	① 現状 (産業廃棄物処理の現状・課題) ア 排出抑制:今後の流入水量(処理水)の減少に伴い、有機性汚泥の発生量が減少すると考えられる。	産	業層	<b>廃棄物の分別に関</b> っ	する事項									
現 (産業廃棄物処理の現状・課題) ア 排出抑制:今後の流入水量(処理水)の減少に伴い、有機性汚泥の発生量が減少すると考えられる。 イ 再生利用:脱水汚泥を安定的に処分するため、県内及び県外の再生利用業者3社に委託している。 ウ 減量化:高性能脱水機(含水率の低下)の導入、減量化のため適正運転管理を実証して行く必要がある。 エ 適正処理:適正処理可能な業者の選定及び処分状況の確認に努める。 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	現状 (産業廃棄物処理の現状・課題) ア 排出抑制:今後の流入水量(処理水)の減少に伴い、有機性汚泥の発生量が減少すると考えられる。 イ 再生利用:脱水汚泥を安定的に処分するため、県内及び県外の再生利用業者3社に委託している。 ウ 減量化:高性能脱水機(含水率の低下)の導入、減量化のため適正運転管理を実証して行く必要がある。 エ 適正処理:適正処理可能な業者の選定及び処分状況の確認に努める。  (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	(		(分別している産	業廃棄物の	種	類及び分別	] (C	関する取組)					
状 (産業廃棄物処理の現状・課題) ア 排出抑制:今後の流入水量(処理水)の減少に伴い、有機性汚泥の発生量が減少すると考えられる。 イ 再生利用:脱水汚泥を安定的に処分するため、県内及び県外の再生利用業者3社に委託している。 ウ 減量化:高性能脱水機(含水率の低下)の導入、減量化のため適正運転管理を実証して行く必要がある。 エ 適正処理:適正処理可能な業者の選定及び処分状況の確認に努める。 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	状 (産業廃棄物処理の現状・課題) ア 排出抑制:今後の流入水量(処理水)の減少に伴い、有機性汚泥の発生量が減少すると考えられる。 イ 再生利用:脱水汚泥を安定的に処分するため、県内及び県外の再生利用業者3社に委託している。 ウ 減量化:高性能脱水機(含水率の低下)の導入、減量化のため適正運転管理を実証して行く必要がある。 エ 適正処理:適正処理可能な業者の選定及び処分状況の確認に努める。  (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	E	リ 見											
ア 排出抑制: 今後の流入水量(処理水)の減少に伴い、有機性汚泥の発生量が減少すると考えられる。 イ 再生利用:脱水汚泥を安定的に処分するため、県内及び県外の再生利用業者3社に委託している。 ウ 減量化:高性能脱水機(含水率の低下)の導入、減量化のため適正運転管理を実証して行く必要がある。 エ 適正処理:適正処理可能な業者の選定及び処分状況の確認に努める。 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	ア 排出抑制:今後の流入水量(処理水)の減少に伴い、有機性汚泥の発生量が減少すると考えられる。 イ 再生利用:脱水汚泥を安定的に処分するため、県内及び県外の再生利用業者3社に委託している。 ウ 減量化:高性能脱水機(含水率の低下)の導入、減量化のため適正運転管理を実証して行く必要がある。 エ 適正処理:適正処理可能な業者の選定及び処分状況の確認に努める。 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ② 計 如理効率の向上を行い、汚泥の減量化に努める	*	犬	(産業盛棄物処理	の現状・課	題	)							
ウ 減量化:高性能脱水機(含水率の低下)の導入、減量化のため適正運転管理を実証して行く必要がある。 エ 適正処理:適正処理可能な業者の選定及び処分状況の確認に努める。 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	ウ 減量化:高性能脱水機(含水率の低下)の導入、減量化のため適正運転管理を実証して行く必要がある。 エ 適正処理:適正処理可能な業者の選定及び処分状況の確認に努める。 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ② 計 如理効率の向上を行い、活泥の減量化に努める。			ア 排出抑制:今	後の流入水	量	(処理水)							
エ 適正処理:適正処理可能な業者の選定及び処分状況の確認に努める。 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	エ 適正処理:適正処理可能な業者の選定及び処分状況の確認に努める。  (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ② 計 如理効率の向上を行い、汚泥の減量化に努める			イ 再生利用:脱 ウ 減量化・高性	水汚泥を安 能脱水機(	定全	的に処分す 水密の低下	-る<	ため、県内2	及び県外の再 量化のため適	生利用業者3 正運転管理を	社に委託して生まれて行く	いる。 必要がある	
(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	② 計 加理効率の向上を行い 海泥の減量ルに努める			工 適正処理:適	正処理可能	なな	業者の選定	, <b>:</b> 及	び処分状況の	の確認に努め	正 <del>                                     </del>	大皿して口へ	心安かのる。	
(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	② 計 加理効率の向上を行い 海泥の減量ルに努める													
(7 以刀刈りの1 にい圧木比米物の性炽火の刀別に関りの秋紅)	② 計 加理効率の向上を行い 海泥の減量ルに努める	-	+	(全谷公則オスネ	定の産業成	弃	物の番粕で	7 7 1	(分別) / 問寸 :	ス 版 組 )				
(a)	計画処理効率の向上を行い、汚泥の減量化に努める。	0	2)	(コ仮刀がりる)	足の圧未廃	来	100071里叔2		刀がに関する	ひ 4文が江/				
計   処理効率の向上を行い、汚泥の減量化に努める。		1	十 町	処理効率の向上を	行い、汚泥	0)	減量化に努	3 8	る。					

自ら	行う産業廃棄物の副	再生利用に関	する事項						
	【前年度 (5	年度 ) 写	€績】						
① 現	産業廃棄物の種類	汚泥(濃縮 汚泥)	汚泥(沈砂)						
状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	+		t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行った			t	t	t	t t	t	
	産業廃棄物の量(これまでに実施								
	(2,70% (10)0,70	0 / 2 / ( ) ( )							
(a)	【目標】								
② 計 三	産業廃棄物の種類	汚泥(濃縮 汚泥)	汚泥(沈 砂)						
画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t		t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う			t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の量(今後実施する予								
自ら	 行う産業廃棄物の中	 中間処理に関	 する事項						
	【前年度 ( 5								
① 現	産業廃棄物の種類	汚泥(濃縮 汚泥)	汚泥(沈砂)						
状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量			t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量	00 005 00		t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行った			t		t t	t t	,	,
	産業廃棄物の量自ら中間処理により								
	減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施			t	t	t	t	t	t
	していまでに美胞	した以和							
	I in Last 1								
② 計	【目標】 産業廃棄物の種類	汚泥(濃縮	汚泥(沈						
画	自ら熱回収を行う	1.7.1/1	砂)						
	産業廃棄物の量自ら中間処理により			t	t	t	t	t	t
	減量する産業廃棄物の量			t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t		t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の量	t		t	t	t	t	t	t
	(今後実施する予								
i									

自ら	行う産業廃棄物の埋	単立処分又はネ	毎洋投入処分	に関する事項	Į.									
	【前年度 ( 5		續】											
① 現	産業廃棄物の種類	汚泥(濃縮 汚泥)	汚泥(沈 砂)											
状	自 ら 埋 立 処 分 又 は 海洋投入処分を行った	t	t	t	t	t	t	t	t					
	産業廃棄物の量 産業廃棄物の種類													
	産業廃棄物の種類 自ら埋立処分又は													
	海洋投入処分を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t	t	t	t	t	t	t					
	(これまでに実施)	した取組)												
	【目標】													
2	<b>产業皮充物の種類</b>		汚泥(沈											
計画	自ら埋立処分マけ	汚泥)	砂)											
	海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t					
	産業廃棄物の種類													
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う	t	t	t	t	t	t	t	t					
	産業廃棄物の量(今後実施する予)	定の計画)												
	*************************************													
産業	廃棄物の処理の委託	Eに関する事項	頁											
	【前年度 (5	年度 ) 実	[績]											
① 現	【前年度 ( 5		[績]											
1	【前年度 ( 5 産業廃棄物の種類	<b>年度) 実</b> 汚泥(脱水	<b>活混</b> (沈 砂)	t	t	t	τ	t	t					
① 現	【前年度 ( 5 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者	<b>年度 ) 実</b> 汚泥(脱水 汚泥)	<b>活混</b> (沈 砂)	t	t	t	t	t t	t					
① 現	【前年度 ( 5 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者	年度) 実 汚泥(脱水 汚泥) 1,855.00 t	<b>経績】</b> 汚泥(沈 砂) 2.44 t											
① 現	【前年度 ( 5 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者 への処理委託量	年度) 実 汚泥(脱水 汚泥) 1,855.00 t	<b>注積】</b> 汚泥(沈砂) 2.44 t 2.44 t		t		t							
① 現	【前年度 ( 5 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用委託量 認定熱回収業者 への処理委託料	年度) 実 汚泥(脱水 汚泥) 1,855.00 t	<b>経績】</b> 汚泥(沈 砂) 2.44 t		t									
① 現	【前年度 ( 5 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者 への処理委託量 認定熱回収業者	年度) 実 汚泥(脱水 汚泥) 1,855.00 t	<b>注積】</b> 汚泥(沈砂) 2.44 t 2.44 t		t		t							
① 現	【前年度 ( 5 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者 への処理収表収累配更収数回収を行う といる。	年度) 実 汚泥(脱水 汚泥) 1,855.00 t t 1,855.00 t	を <b>積】</b> 汚泥(沈砂) 2.44 t t 2.44 t	t t	t t	t t	t t	t t						
① 現	【前年度 ( 5 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用委託量 認定熱理収委業者 への処理委託量 認定熱理収を発達者 への熱理の収を行う 業者への処理委託量	年度) 実 汚泥(脱水 汚泥) 1,855.00 t t 1,855.00 t	を <b>積】</b> 汚泥(沈砂) 2.44 t t 2.44 t	t t	t t	t t	t t	t t						
① 現	【前年度 ( 5 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利理吸充主動 部定熱理収率 業計 を でいる できない できない できない できない できない できない できない できない	年度) 実 汚泥(脱水 汚泥) 1,855.00 t t 1,855.00 t	を積】 汚泥(沈 砂) 2.44 t t 2.44 t	t t t	t t t	t t	t t	t t t						
① 現	【前年度 ( 5 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者 へのを現る 要要 を 要	年度) 実 汚泥(脱水 汚泥) 1,855.00 t t 1,855.00 t	を積】 汚泥(沈砂) 2.44 t t 2.44 t	t t t	t t	t t	t t	t t t						
① 現	【前年度 ( 5 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良の理委託量 優良の無難 者 への定の無難 を 変し の での 変し の 変し の 変し の 変し の 変し の 変し の 変	年度) 実 汚泥(脱水 汚泥) 1,855.00 t t 1,855.00 t	を積】 汚泥(沈 砂) 2.44 t t 2.44 t	t t t	t t t	t t	t t	t t t						
① 現	【前年度 ( 5 産業 幣の種類 全 処理 要 処理 定理 用 要 収 整 処理 定理 用 要 収 要 の 定 の 定 の 定 の 定 の 定 の 定 の 定 の 定 の 定 の	年度) 実 汚泥(脱水 汚泥) 1,855.00 t t 1,855.00 t t	を <b>積】</b> 汚泥(沈砂) 2.44 t 2.44 t t t t	t t t t t	t t t t	t t t t	t t t	t t t t						
① 現	【前年度 ( 5 産業 幣の種類 全 優 の 種類 全 優 の 生 処 熱 の 恵 の 定 の 生 の と の 生 の 処 熱 の 恵 の 生 の と の 生 の と の 生 の と の 生 の と の 生 の と の 生 の と の 生 の と の と	年度) 実 汚泥(脱水 汚泥) 1,855.00 t t 1,855.00 t t	を積】 汚泥(沈砂) 2.44 t t 2.44 t t t	t t t t t t	t t t t t	t t t t t	t t t t t	t t t t						
① 現	【前年度 ( 5 産業 幣の種類 全 処 段の 理 型 定 理 用 要 収 要 収 要 取 要 更 理 更 理 更 理 更 理 更 理 更 理 更 更 更 更 更 更 更	年度) 実 汚泥(脱水 汚泥) 1,855.00 t t 1,855.00 t t t	を積】 汚泥(沈砂) 2.44 t t 2.44 t t t	t t t t t t t	t t t t t t	t t t t t t	t t t t	t t t t t						
① 現	【前年度 ( 5 ) 産業 物の種類 全 優 の 生 処 熱 四 更 回 理 回 回 理 回 理 回 理 回 理 回 理 回 理 回 理 回 理	年度) 実 汚泥(脱水 汚泥) 1,855.00 t t 1,855.00 t t t	を積】 汚泥(沈砂) 2.44 t t 2.44 t t t	t t t t t t t	t t t t t t	t t t t t t	t t t t	t t t t t						
① 現	【前年度 ( 5 ) 産業 物の種類 全 優 の 生 処 熱 四 更 回 理 回 回 理 回 理 回 理 回 理 回 理 回 理 回 理 回 理	年度) 実 汚泥(脱水 汚泥) 1,855.00 t t 1,855.00 t t t	を積】 汚泥(沈砂) 2.44 t t 2.44 t t t	t t t t t t t	t t t t t t	t t t t t t	t t t t	t t t t t						
① 現	【前年度 ( 5 ) 産業 物の種類 全 優 の 生 処 熱 四 更 回 理 回 回 理 回 理 回 理 回 理 回 理 回 理 回 理 回 理	年度) 実 汚泥(脱水 汚泥) 1,855.00 t t 1,855.00 t t t	を積】 汚泥(沈砂) 2.44 t t 2.44 t t t	t t t t t t t	t t t t t t	t t t t t t	t t t t	t t t t t						
① 現	【前年度 ( 5 ) 産業 物の種類 全 優 の 生 処 熱 四 更 回 理 回 回 理 回 理 回 理 回 理 回 理 回 理 回 理 回 理	年度) 実 汚泥(脱水 汚泥) 1,855.00 t t 1,855.00 t t t	を積】 汚泥(沈砂) 2.44 t t 2.44 t t t	t t t t t t t	t t t t t t	t t t t t t	t t t t	t t t t t						

_	【目標】										
① 計 画	産業廃棄物の種類	汚泥(脱水 汚泥)		汚泥(沈 砂)							
四	全処理委託量	1, 753. 00	t	2. 31	t	t	t	t	t	t	
	優良認定処理業者 への処理委託量		t		t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者 への処理委託量	1, 753. 00	t	2. 31	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者 への処理委託料		t		t	t	t	t	t	t	
	認 定 熱 回 収 業 者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量		t		t	t	t	t	t	t	
	産業廃棄物の種類										
	全処理委託量		t		t	t	t	t	t	t	
	優良認定処理業者 への処理委託量		t		t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者 への処理委託量		t		t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者 への処理委託料		t		t	t	t	t	t	t	
	認 定 熱 回 収 業 者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量		t		t	t	t	t	t	t	

(今後実施する予定の取組)

※事務処理欄

#### 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 第 2 面 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 について

## 責任者

総排	舌責任者	職氏名:下水環境課長
廃ӭ	医物管理担当者	職氏名:参事 現地責任者 球磨川上流流域下水道指定管理者 九州テクニカル・球磨清掃公社委託業務共同企業体 総括責任者
役	廃棄物処理総括責任者	・廃棄物処理方針の策定 ・センター内廃棄物処理基準の策定・改廃 ・センター内廃棄物委託処理基準の策定・改廃 ・下水環境課及び指定管理者職員に対する教育・啓発
割	廃棄物管理担当者	<ul> <li>・廃棄物管理状況の把握と改善策の検討</li> <li>・産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握</li> <li>・処理業者、再生利用業者の調査及び管理</li> <li>・委託契約の締結</li> <li>・マニフェスト(産業廃棄物処理伝票)の交付・管理</li> <li>・産業廃棄物処理責任者及び産業廃棄物取扱責任者の設置</li> <li>・監督官庁への各種報告</li> <li>・その他関連する事項</li> </ul>

#### 廃棄物管理組織

## 熊本県土木部道路都市局下水環境課

球磨川上流浄化センター

球磨川上流流域下水道指定管理者 九州テクニカル・球磨清掃公社委託業務共同企業体 (JV) 総括責任者 (産業廃棄物取扱責任者)

J V職員(廃棄物取扱者)

# 産業廃棄物処理計画書(集計用シート)

提出者の名称	熊本県知事 2	木村 敬口:	上木部道路都市戶	<b>局下水環境課</b> )	提出者の住所	熊本市中央区水前寺6丁目18番1号
事業場の名称	球磨	<b>善川上流</b>	浄化セン	ター	事業場の所在地	球磨郡錦町大字一武字平岩70-1
内容年度	令和	6	年度			

										(	単位:トン)	
		自社内での処理状況							委託先での処理状況			
		排出量						委託処理量のうち委託先毎の量				
廃棄物の種類	現状/		自己再生 利用量	うち熱 回収量	自己中間 処理 減量化量	自己最終 処分量	全処理 委託量	優良認定 処理業者 への処理 委託量	再生利用 業者への 処理 委託量	熱回収 認定業者 への処理 委託量	熱定 製定 製定 外収 素処 の の の の の の の の の の の の の	
		Α	В	С	D	E	F	G	Н	I	J	
汚泥(濃縮汚泥)	現状	90,880.02	0.00	0.00	89,025.02	0.00	1,855.00	0.00	1,855.00	0.00	0.00	
7 Jul (1)2 may July	計画	85,873.00	0.00	0.00	84,121.00	0.00	1,753.00	0.00	1,753.00	0.00	0.00	
汚泥(沈砂)	現状	2.44	0.00	0.00	0.00	0.00	2.44	0.00	2.44	0.00	0.00	
7 3 1 3 1 3 7	計画	2.31	0.00	0.00	0.00	0.00	2.31	0.00	2.31	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
-	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状 計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
-	<u>現仏</u> 計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	<u> </u>	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	<u>現状</u>	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合 計	現状	90,882.46	0.00	0.00	89,025.02	0.00	1,857.44	0.00	1,857.44	0.00	0.00	
	計画	85,875.31	0.00	0.00	84,121.00	0.00	1,755.31	0.00	1,755.31	0.00	0.00	